

プロジェクト名	簡単なスピーチとして使える自己紹介を書き、音声をつける
タイプとレベル	「ライティングと文法」 A1～A2、 「リスニングとスピーキング」 A1～A2
期間	授業の後半 30 分を 2 回と宿題+宿題 2 回
対象者	週 2 回 1 年間ドイツ語を学習する大学 1 年生 (学習開始後、2～3 ヶ月程度から実施可能)
計画案 (課題、目的、学習対象、 利用可能なツール、技術的 な前提、進行プラン例)	<p>課題 : 1 分以上の長さからなるドイツ語での簡単な自己紹介のスピーチを 2 週間後に行い、録音して投稿する。</p> <p>目的 : 1) 簡単な自己紹介の表現を覚える。(A1～A2 レベルの writing)、2) 身近な話題についての 1 分間程度のスピーチが言えるようになる。(A1～A2 レベルの speaking)。3) ドイツ語の発音に慣れる。4) クラスメイトが話す簡単なドイツ語を理解する。</p> <p>利用可能なツール :</p> <p>学生: スマートフォン、読み上げ機能のある各種ソフトウェア (Google 翻訳, Acapela Box, TTSMP3.com Free Text-To-Speech and Text-to-MP3 for German, Free online Text To Speech (TTS) service with natural sounding voices, Text to Speech Reader : German male voice, German Text-to-Speech Service, TEXT TO SPEECH ONLINE TEXT TO VOICE ROBOT, TEXT2MP3)、各種学習管理システム (FLIPGRID, Facebook、Bb9, moodle 等)。</p> <p>技術的な前提 CALL 教室等が使えるれば望ましいが、最低限、教員用 PC が 1 台ネットに接続でき、その画面を提示できれば良い。勤務先の大学に学習管理システムがあれば望ましいが、無い場合は、FLIPGRID や Facebook 等を使う。</p> <p>プロジェクト進行プラン</p> <p>① 準備: 1) 教員は、4 月の授業開始後に、1 分以上の長さからなるドイツ語での簡単な自己紹介のスピーチが言えるようになることが、前期の授業の最初の目標だと言うことをあらかじめ宣言し、自己紹介に関する表現 (<u>挨拶</u>、<u>名前</u>、<u>出身</u>、<u>住んでいるところ</u>、<u>身分・職業</u>、<u>専門</u>、<u>習っている言語</u>と話せる言語、好きな食べ物や飲み物、趣味 [得意なスポーツ・演奏できる楽器・好きな音楽・その他]、家族や友人の紹介、今したいことや自分の夢、<u>締め言葉</u>) を書いたり発話したりできるよう、前期の授業の中で少しずつ扱っておく。</p> <p>2) 文法的には、1 人称と 3 人称の活用、様々な副詞的表現 (gern/ (sehr) gut/ ein bisschen/ etwas/ nur/ auch/ nicht)、定冠詞/不定冠詞・否定冠詞の 1/4 格を扱っておく。</p> <p>① 第 1 週: A4 の上半分に自己紹介とイラストの例が、下半分は空白でイラストの顔を書くための膨らんだお餅型の輪郭</p>

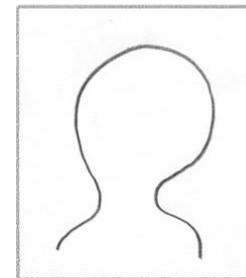
のみが描かれたペーパーを配り、それを使ったペア練習を行う。宿題として、空白部分に自己紹介例に準じた自分達の自己紹介文をドイツ語で書くと共に、お餅型の輪郭を利用して自分のイラストも描いてくるよう指示する。

② 上述の自己表現の項目の中で、下線を引いた項目については、だいたい共通する部分が多いので、それ以外の部分で個性を出すよう促す。原則として習った表現の枠組みを使うことを推奨し、どうしてもそれ以外の表現を使う場合は、次のルールを守らせる。

- ・新出の単語を使うときは、最後の行に「新出単語」として当該単語とその日本語訳を註の形で付ける。
- ・新出の表現や文型を使うときは、その表現を二重引用符で囲んだものをキーワードとして **Google** 検索を行い、実際の使用例があるかを確認してから使う。
- ・新出の単語や表現を使って良いのは、原則 3 回までとする。

③ 第 2 週：学生は、4 人～6 人のグループ作業で、宿題として書いてきた自己紹介文をお互いに紹介し、グループ内で直す。不安のある部分は、机間巡視している教員に尋ねる。

④ 直した作品は、LMS の **Forum** ページにいったん投稿する。次の課題として、投稿された他人の自己紹介文を読み、その中で共感した作品を 2 つ選んで、書かれている内容に対するコメントや質問を、一言で良いので自由に書き込む。自分の自己紹介文に対してコメントや質問が書き込まれた場合は、速やかに、再コメントや質問されたことへの答を書く。



⑤ 教員は、音声読み上げソフトの使い方を実際にデモしながら、学生に使わせ、自分達の書いた作文のドイツ語模範音声を聞かせる。その際、日本語の名前や表現は、あらかじめ、同種のドイツ語表現に変えておくこと全体をなめらかに読見上げてくれるなどの裏技も教える。

⑥ 宿題として、学生は、自分の書いた自己紹介文を、スマートフォンを使って録画する。その際、録画の画面は、自分を映すのではなく、自分の書いたイラストをアップで写して録音する。録音したデータは、教員が開いた、**FLIPGRID** に投稿する。学生がひとりでも投稿出来るよう、投稿の仕方については、あらかじめ教員がマニュアルを作っておき、学生に配る。教員は、投稿された自己紹介文をチェックし、発音に問題がある場合は個別に指導する。

⑦ 教員は、6 月以降の授業で、毎回 2 人ずつの自己紹介を授業開始前に流す。

ポイント

- 1) 最初に本プロジェクトの課題と期日を明示しておく。
- 2) 内容的に意外性があったり、本人の個性が出ていたり、新しい情報があって、他人に突っ込んでもらえるような自己紹介を書くよう指導することが重要。
- 3) 録音・録画の際には、メモは良いが、読み上げはだめと厳命しておく。
- 4) お互いを知らない複数のクラスや（たとえば他の教員と協同して）複数の大学のクラスで一緒に行うと、「自己紹介」が本物（*authentisch*）になる。

第1週に使う自己紹介とイラストの一例：

例にならって自己紹介の文を書いてみよう。ついでに君の顔のイラストも描こう。

(und や aber を使って文をまとめたり nicht/gut/gern/ein bisschen/nur/schon 等の副詞を効果的に使おう。時や場所の副詞句等は前にも置けるよ。)



Guten Tag! Mein Name ist Yumi Tanaka. Ich komme aus Osaka und wohne jetzt allein in Saijo. Ich bin Studentin. Ich studiere Informatik. Die Informatik ist sehr interessant. Ich lerne jetzt auch Deutsch und Englisch.

In der Freizeit surfe ich oft im Internet. Ich mache auch gern Computerspiele. Ab und zu gehe ich ins Kino. Ich sehe gern koreanische Spielfilme. Meine Familie isst gern japanisch. Aber ich esse nicht so gern Sushi. Ich esse lieber chinesisches. Ich esse sehr gern Mabo-Tofu. Oolongtee trinke ich auch sehr gern. Danke schön.

新出語彙：ab und zu =ときどき(英語の sometimes に相当) allein =ひとりで(英語の alone に相当)

_____ 答えはここより下を書いてください _____

- ・ FLIPGRID とは？ <https://flipgrid.com/>

Where social learning happens. というモットーの下に、教員が作成したスペースに、学習者がそれぞれビデオを作成し投稿できる枠組みを提供することで、協調学習を可能にする Web 上のツール。



・ FLIPGRID の特徴

1. 無料、かつ手軽にビデオ素材を利用できる。

オンライン動画の読み込み、作成、加工、投稿、公開などが、すべて1つのサイトでできる。また、それらを様々な課題と関連づけられる。

2. 協同学習に利用できる。

たとえば投稿動画に、学生と教員間だけでなく、学生同士でもコメントや関連動画が付けられるなど、協同学習の枠組みとして利用可能。

3. 教員用でログインすると学習管理システムとしても利用可能。

教員用でログインすると学習状況や成績情報の管理などもでき、また学習者のアクセス条件等や公開条件を変更できるパラメタがあるので学習管理システムとしても利用可能。

4. セキュリティやプライバシーを守れる

公開の範囲を様々な指定したり、ID とパスワードを割り振ることで、特定の集団だけの閉じたページを作ったりすることができるので、セキュリティ上の問題をクリアできる。

5. 最新の ICT と親和性が高い。

たとえば、QR コードを作ってスマホから簡単にアクセスできるなど、最近のモバイル端末とシームレスに繋がっているのが使いやすい。



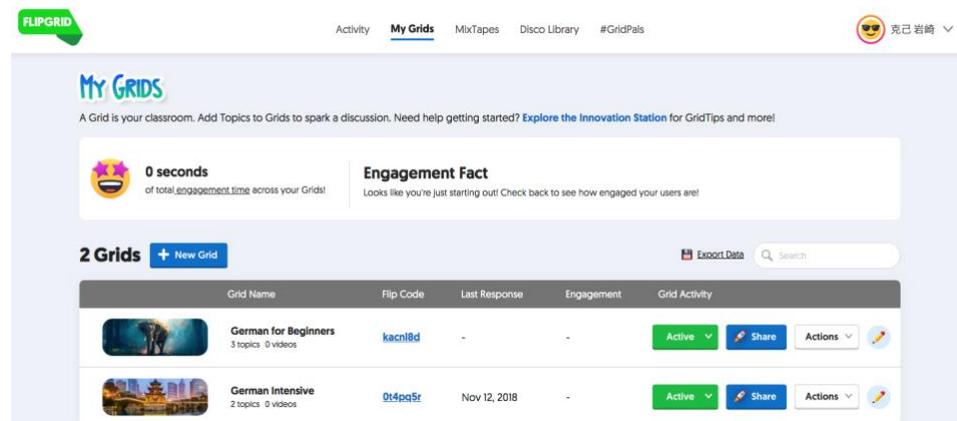
・ FLIPGRID の使用法（教材を作る場合）

プロジェクトシート

1. 最初のステップ

「Educator Login」から入り、「My Grids」のページ（図1）に行く。そこから「+New Grid」ボタンを押して、新しいGridを作るためのページを開く。

図1

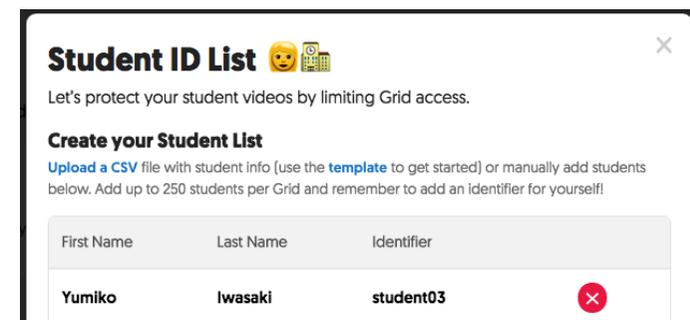
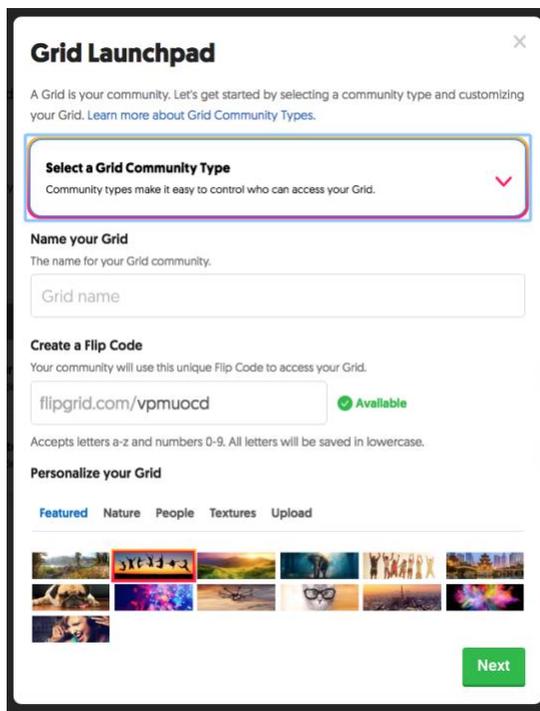


2. 新しいGrid (=学習スペース) を作る

「+New Grid」ボタンを押すと「Grid Launchpad」（図2）が開くので、「Select a Grid Community Type」のメニューで「Student ID List」を選ぶと共に、「Name your Grid」欄に、新しいGrid名を書き、「Next」ボタンを押す。

すると Student ID List 入力用 Window（図3）が開くので、「Add Student」ボタンを使って、学生の氏名と Identifier (=学生個人に振る ID) を個々に登録し、最後に「Next」ボタン、「Launch my Grid!」ボタン、「All set!」ボタンを押していく。

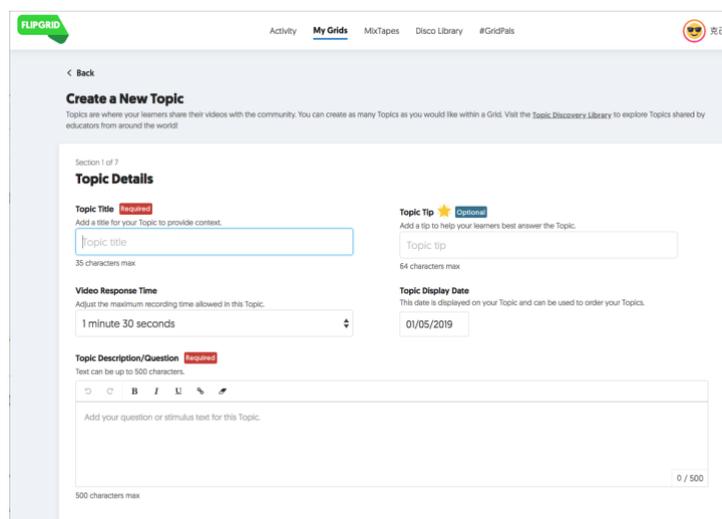
図3



3. Grid に新しいトピック（＝課題領域）を作る

「+New Topic」ボタンを押すと、トピック作成用の「Create a New Topic」ページ（図4）が開く。そこで、必須情報であるタイトルと課題をそれぞれ「Topic Title」欄と「Topic Description/ Question」欄に書く。なお、「Launch and Freeze Dates」欄には、この課題の公開日と登録締め切り日を書ける。デフォルトは登録日が公開日として入っている。「Grid Community Type」ボタンをオンにすると先ほど登録した学生しか見られないようにできる。その他のデフォルトの設定ボタンを必要なら適宜変えて、最終的に「Create Topic」を押すと課題ができる。

図 4



The screenshot shows the 'Create a New Topic' page in the FLIPGRID application. The page is titled 'Create a New Topic' and includes a 'Back' button. Below the title, there is a brief description: 'Topics are where your learners share their videos with the community. You can create as many Topics as you would like within a Grid. Visit the Topic Discovery Library to explore Topics shared by educators from around the world!'. The form is divided into several sections:

- Section 1 of 7: Topic Details**
 - Topic Title (Required):** A text input field with a placeholder 'Topic title' and a character limit of '35 characters max'.
 - Topic Tip (Optional):** A text input field with a placeholder 'Topic tip' and a character limit of '64 characters max'.
 - Video Response Time:** A dropdown menu currently set to '1 minute 30 seconds'.
 - Topic Display Date:** A date input field set to '01/05/2019'.
 - Topic Description/Question (Required):** A rich text editor with a placeholder 'Add your question or stimulus text for this Topic.' and a character limit of '500 characters max'.

以下の図5の「Topic Resource」ボタンをクリックすることで必要に応じて自分でビデオを録画して登録したり、既存のビデオクリップや静止画

面
ビ
面

を取り込んで使うこともできる。なお、図6はビデオ録画用の画面である。図6はビデオ作成画面である。

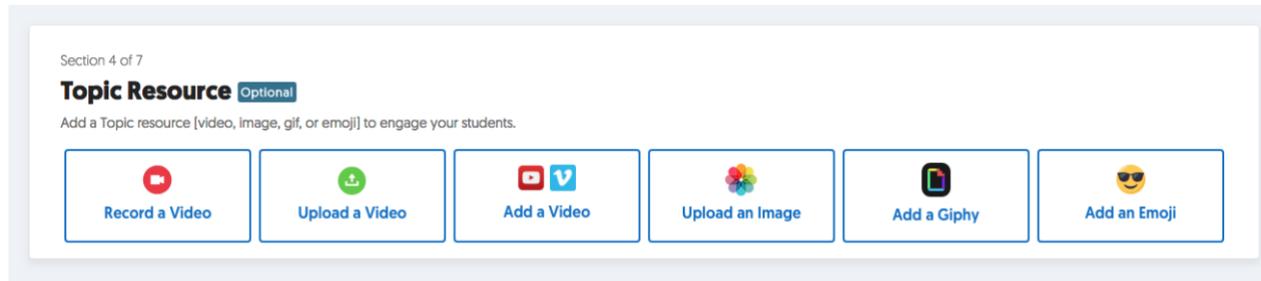


図5



図6